

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372002309
事業所名	医療法人善恵会 ふくろう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 市役所周辺の地域資源をよく活用しており、合わせて公園でのお花見等、季節感も味わっている。大正琴や歌謡踊りのボランティアの定期的訪問やホーム行事への参加があり、保育園児との交流も活発に行われている。「ふくろう祭り」は毎年の恒例行事で、多方面からの参加があり、地域に根付いている。鬼がホーム玄関に立ち寄り頭を撫でてもらえる「とよはし鬼祭り」も健康祈願になると病院訪問者にも好評である。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回開催し、現職議員や自治会長、民生委員、ボランティア、家族、地域包括支援センター職員等が参加している。活動報告、行事報告、入居状況に加えヒヤリハットや事故、苦情、虐待、拘束、感染防止に至るまで報告されている。会議に行事や講話を盛り込んで家族が楽しく参加できるよう、また様々な意見を日々のケア向上につなげるよう取り組んでいる。家族アンケート内容について意見交換し、「良い勉強ができた」との声が多くあった。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政とは、運営推進会議への参加も得られ、日頃足を運んでいることもあり、相談や不明点を尋ねることのできる協働体制が構築されており、情報共有もされている。連携も図られているため、今年度より介護相談員の来訪はなくなった。市や社協主催の研修に職員は参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族が足を運びやすい環境やイベントを企画し、面会や行事参加時にリーダーが中心となって、意見や要望等何でも気軽に話せるよう声掛けしている。さらに勉強会を開催してほしいとの意見で、推進会議後、介護施設に関する講話を実施した。季節ごとに「ふくろう通信」を発行し、はがきに行事の写真とコメントを入れて家族に送付している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				